

基本方針

未来の宝育成委員会 委員長 久保 昌史

近年、我々を取り巻く社会事情は大きく変わり、核家族化や少子化・超高齢社会、情報化社会の進展等により、地域社会における人間関係の希薄化が進んでいます。また、子どもたちの現状をみても、情報化技術の進展により人や社会との直接的な関わりが減り、自己中心的に物事を考える傾向が強くなり、物質的な豊かさゆえ夢や希望を持つことができずにいる子どもたちが増えています。その結果、人間関係、なかでも親子の家庭における親子のコミュニケーションさえも難しい時代になっています。

まず当委員会では、子どもたちの健全なる成長を支えるために、日本の伝統文化でもある武道を体験してもらい、礼儀礼節、夢や目標を持つことの大切さを学んでもらいます。また、参加してもらった子どもたち同士が共に切磋琢磨することで生まれる他人に対する思いやりや相手を敬う気持ち、心遣いを学ぶ機会を創出し、社会の一員として生きていくための道徳心や社会性、知性や体力を育んでもらいます。そして、その子どもたちのたくましく頑張っている姿を家族に見てもらうことにより、今一度親子の絆を深めていただき、武道を通じて次代を担う子どもたちの健全なる育成への取り組みの必要性を再認識してもらえる事業を構築します。

また、子どもたちの健全なる育成の場である、わんぱく相撲堺大会では、子どもたちの一生懸命な姿を一人でも多くの市民の皆様に見てもらえるよう、堺市・高石市の教育委員会や学校現場との連携を今一度強化し、若さと行動力溢れる堺高石JCメンバーが堺市7区と高石市を合わせた8エリアの子どもたちの参加を促し、わんぱく相撲堺大会を盛り上げていきます。

事業を通じ、未来の宝である子どもたちに礼儀礼節、夢や目標を持つことの大切さを伝え、他人に対する思いやり、相手を敬う気持ちを育んでもらうことにより、未来の堺市・高石市を牽引していく次世代のリーダーに導くことを決意し、一年間邁進していきます。